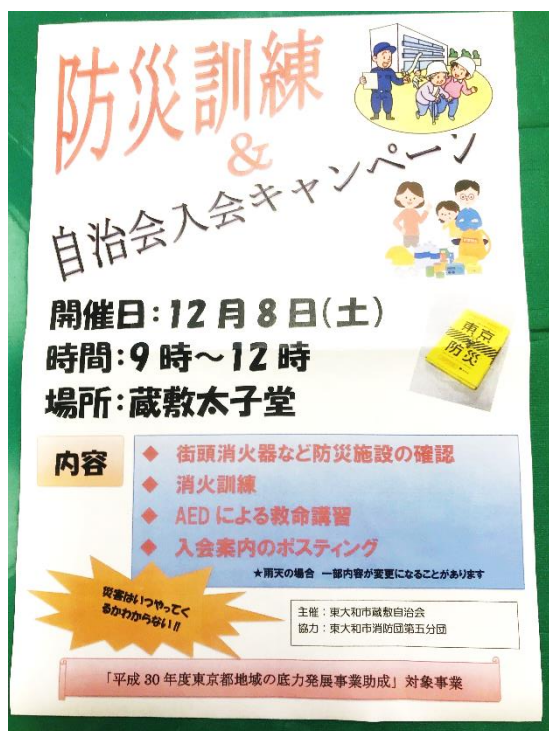


自治会活動 参加レポート



No.20 蔵敷自治会

「防災訓練&自治会入会 キャンペーン」

(平成30年12月8日実施)

12月に入り、ぐっと寒さが増したこの日、蔵敷自治会「防災訓練&自治会入会キャンペーン」が開催されました。

蔵敷自治会は、蔵敷1・2・3丁目（芝中団地を除く）からなる、264世帯で構成された自治会です。

このイベントは、「平成30年度 東京都地域の底力発展事業助成」を活用して企画したもので、取材に伺う前から職員もどんな内容であるのだろうと大変楽しみにしておりました。

集合場所の蔵敷太子堂に到着すると、今まで準備してきたであろう数々のものが目に入ってきました。特に綺麗な青色をしたたくさんの方ののぼり旗が目を引きまします。今回は地域での防災訓練に加え、新規に自治会に入ってもら入会促進キャンペーンも同時に行うことから、この行事にける自治会の方々の強い思いが伝わってきました。



自治会長と東大和市消防団第五分団長からの挨拶の後、いよいよ防災訓練のスタートです。

まずは、自治会が独自に作成した『蔵敷防災MAP』を見ながら、街頭消火器・震災対策用指定井戸・消防団詰所の見学です。非常時に使用するものなどの所在を地域住民で確認しておく、それがいかに大切であるかを実感しました。参加者の方々からも「こんな所にあつたんだ。知らなかったよ。」などの声があがっており、大変良い機会になっていたようです。

普段なかなか内部までは目にすることがない消防団詰所では、多くの参加者の方が興味津々な様子で、消防団第五分団の方々に消防に関する多くの質問をしていました。



▲街頭消火器



▲消防団詰所の見学

続いて、水消火器を使用した消火訓練です。「火事だー！」という参加者の方々からの大きな声が蔵敷地域に響き渡ります。参加者全員が積極的に消火訓練に参加されており、地域全体で防災に力を入れているという団結力を感じました。



▲消火訓練の様子

他にも、通報訓練・救急救命講習も行われ、行事の企画者と参加者がお互い参加し合える体制が作り上げられていたことで、終始大変良い雰囲気でした。

最後に、参加された方には、避難所等でも使える冷熱遮断アルミシートと飲み物が配られました。



▲通報訓練の様子



▲救急救命講習の様子

『いざという時の助け合い』。今回の取材を通して、改めてその大切さを学ぶことができました。地域住民同士で日頃から顔見知りになっておくことで、お互い協力し合える。まさに今回のイベントはそれを可能にするものであったのではないのでしょうか。人と人のつながり、災害への備え。これからの人生で非常に大切なことを学べたひと時でした。

今回、取材にご協力いただいた蔵敷自治会の会長様、また、取材する職員に温かく声をかけてくださった自治会員の皆様、ありがとうございました。



▲蔵敷自治会 西永会長

自治会加入を希望される場合には、ご近所の自治会役員、会員の方にお尋ねいただくか、市役所 地域振興課 市民協働係までお問合せください。

電 話：042-563-2111（内線1711、1716）

FAX：042-563-5931